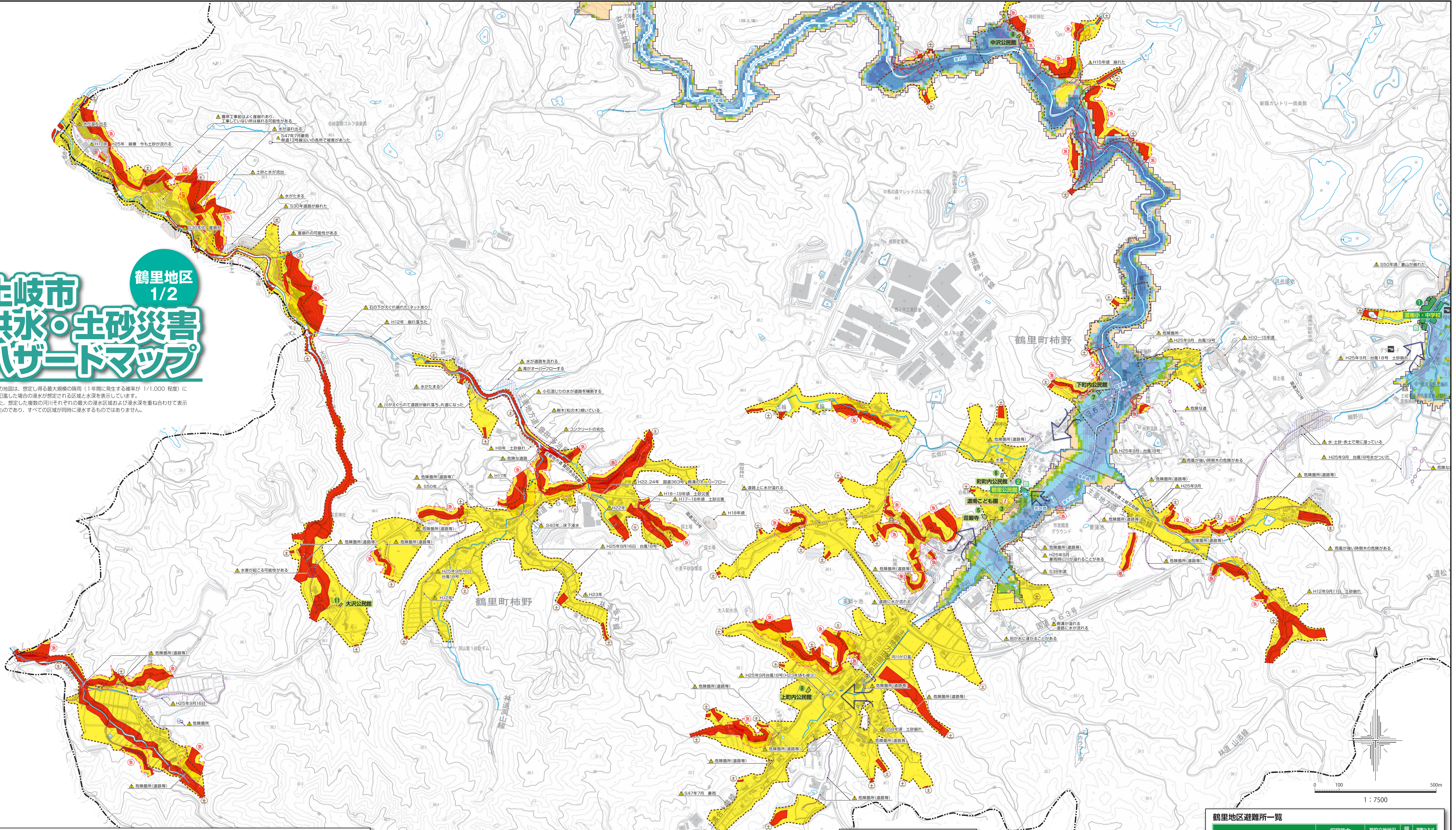


土岐市 洪水・土砂災害ハザードマップ

鶴里地区 1/2

この地図は、想定し得る最大規模の降雨（1年間に発生する確率が1/1,000程度）により氾濫した場合の浸水が想定される区域と水深を表示しています。また、想定した複数の月川それぞれ最大の浸水区域および浸水深を重ね合わせて表示したものであり、すべての区域が同時に浸水するものではありません。



凡例

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)
土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)
 急傾斜 地すべり
 土石流 急傾斜 地すべり
 浸水した場合に想定される水深
 20.0m以上の区域
 10.0m～20.0m未満の区域
 5.0m～10.0m未満の区域
 3.0m～5.0m未満の区域
 1.0m～3.0m未満の区域
 0.5m～1.0m未満の区域
 0.3m～0.5m未満の区域
 0.3m未満の区域

家屋倒壊等氾濫想定区域
 河川浸食区域
 氾濫浸食区域

広域避難所
一時避難所
要配慮者利用施設
 防災倉庫
 水防倉庫
 土庫
 土砂採取地
 公共の病院
 公共の診療所
 ヘルプセンター
 高齢者福祉施設
 児童福祉施設
 要配慮者施設
 (アツダ) (欠等)

危険箇所
 点
 線(道路等)
 方向
 安全箇所
 点
 線(道路等)
 水の動き
 土砂の動き
 災害箇所、危険箇所の詳細
 安全情報の詳細

避難の方向

地元検討会情報

地元検討会で住民の皆さんから寄せられた情報を下記のとおり地図に反映しています。

過去の災害箇所
 水害
 土砂災害

浸水深の目安
 20m
 10m
 5m
 3m
 1m
 0.5m
 0.3m

※避難の方向はあくまで目安となりますので、状況に応じて判断してください。

土岐市洪水・土砂災害ハザードマップ ④ 鶴里地区 位置図

避難所の種類

(1) 広域避難所
 災害救助法が適用される程度の災害が発生し、又は発生するおそれがあり、かつ多数の避難者がある場合の避難所です。

(2) 一時避難所
 災害が発生するおそれがある場合、家屋の倒壊や破失等の被害を受け一時的に避難する場合、避難者が少数の場合で広域避難所が適当でない場合又は、広域避難所に避難することが不可能な場合の避難所です。

(3) 広域避難ひらば
 地震などによる火災が延焼拡大して地域全体が危険になったときに避難する場所です。

(4) 一時避難ひらば
 地震などによる火災が延焼拡大して、自主防災組織、町内会ごとに一時的に集合して待機する場所です。

福祉避難所

災害時に一般避難所において、避難所生活が困難な高齢者や障がいのある人など、何らかの特別な配慮を必要とする方が避難する施設です。
 フェリスエッセ土岐、土岐市福祉施設がなまり及びすこやか館が福祉避難所として開設されたときは、福祉避難所としての機能を果たします。
 湯尾荘、美濃陶生苑及びドリーム陶館は、一般の避難所としての開設はしません。

鶴里地区避難所一覧

避難所名	収容能力		施設立地状況		避難ひらば
	屋外	屋内	地震	洪水	
1 瀧南小・中学校	4,340	260	■	■	◎
2 鶴里公民館		210			
3 瀧南こども園		180			
4 畑野農業集落研修センター		60			
5 荘厳寺		50	●	●	●
6 町町内公民館		30	●	●	●
7 下町内公民館		50	●	●	●
8 上町内公民館		50	●	●	●
9 中沢公民館		30	●	●	●
10 細野白鳥公民館		45	●	●	●
11 大沢公民館		10	●	●	●

この避難所一覧は令和3年3月現在のものです。最新の避難所については土岐市ホームページ等で確認ください。

● 施設立地状況【地震】 地震に強い可能性があり、避難には注意が必要です。
 ● 施設立地状況【洪水】 洪水の被害が予想される場合、避難には注意が必要です。
 ● 要配慮者施設 要配慮者が多数の施設が想定される場合に注意を示しています。
 ● 福祉避難所 土岐市の被害が予想される場合に開設される施設、避難には注意が必要です。
 ▲ 施設立地状況【土砂災害】 土砂災害の被害が予想される場合に注意を示しています。
 ※黄色丸、凡例の「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」、「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」を示しています。